

接続政策委員会 事業者ヒアリング資料 ワイヤレス固定電話の提供開始に伴う接続料の在り方

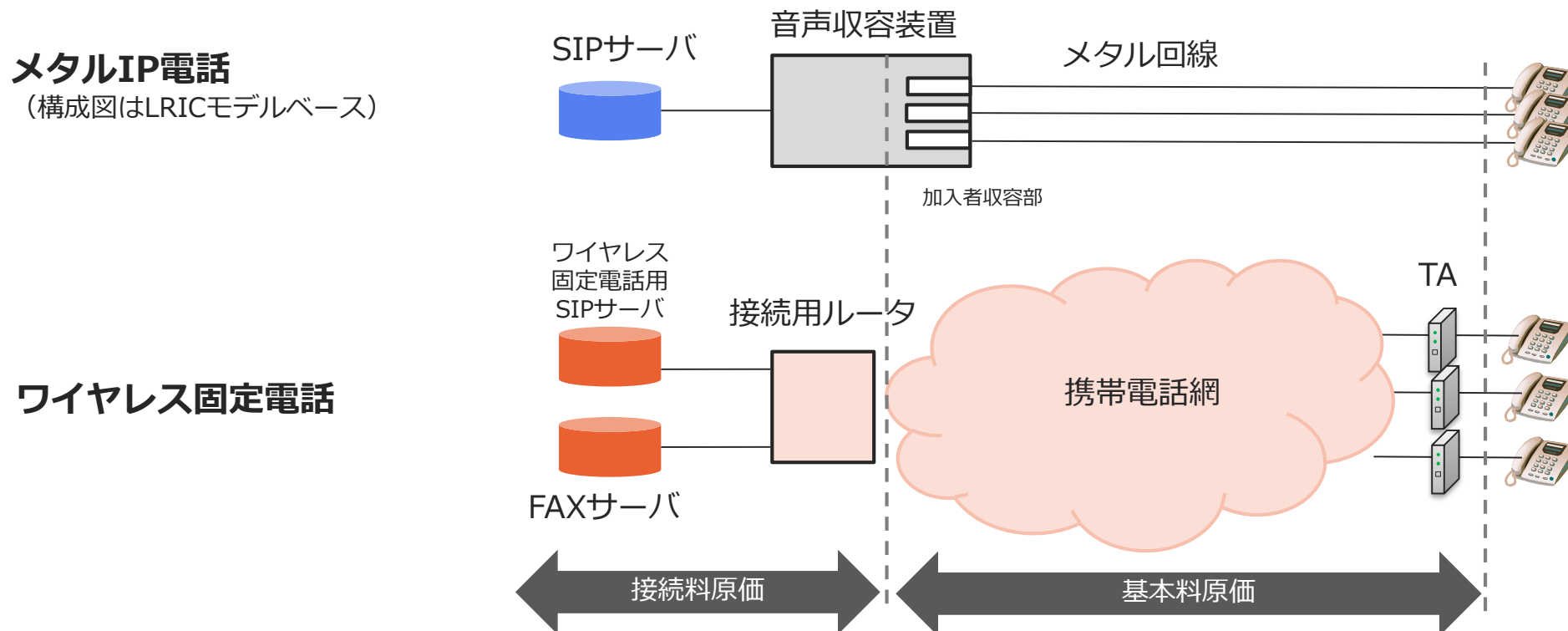
2022年1月26日

KDDI株式会社

ワイヤレス固定電話の接続料原価の範囲

2

- ワイヤレス固定電話は著しく不採算な地域等のメタル電話（加入電話・メタルIP電話）の代替として活用されることを踏まえると、メタル電話において基本料での回収範囲となるメタル回線に該当する設備は同じく基本料での回収範囲とすべきと考えます。
- よって、ワイヤレス固定電話における携帯電話網およびTAは、基本料での回収範囲と見なし、それ以外の使用設備を接続料原価の範囲とすることが適当と考えます。



ワイヤレス固定電話の接続料原価算定の課題

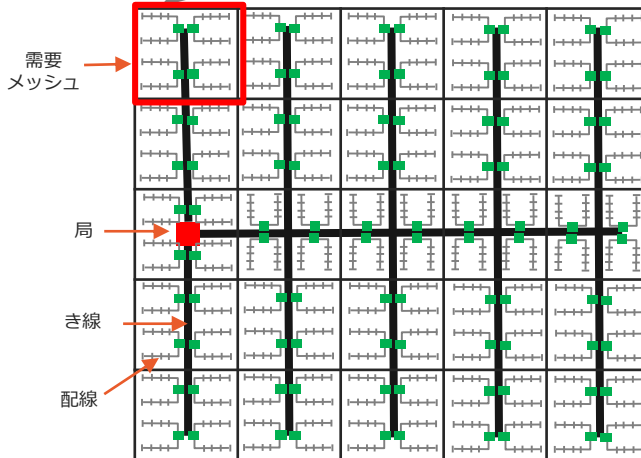
3

- ワイヤレス固定電話の原価算定においては、新たに導入される設備の原価把握の他に、置換される**メタルIP電話回線の配線設備の減分設備原価を正しく把握する必要があります**。
- メタルIP電話回線の原価はLRICモデルで算定されておりますが、LRICモデルの配線モデルの実装上の制約により、何らかのモデル変更を行う必要があると考えます。

LRIC加入者回線配線モデル

メッシュ毎の需要想定方法

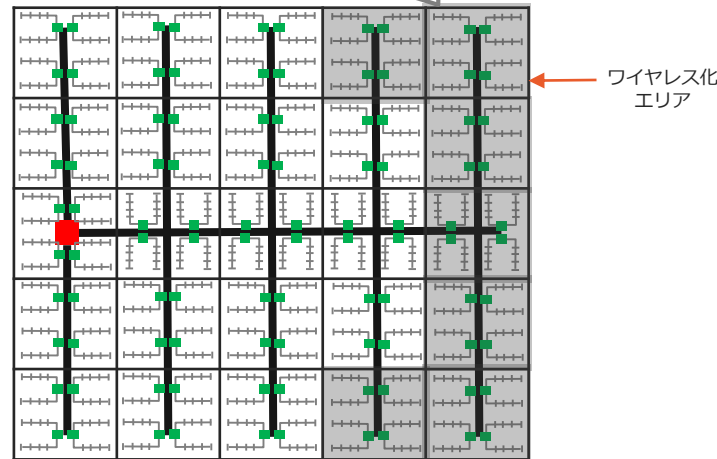
局毎の加入電話需要実績を国勢調査のメッシュ毎住居数分布比率でメッシュ毎需要として配賦



ワイヤレス固定電話の課題

ワイヤレス化エリアの配線課題

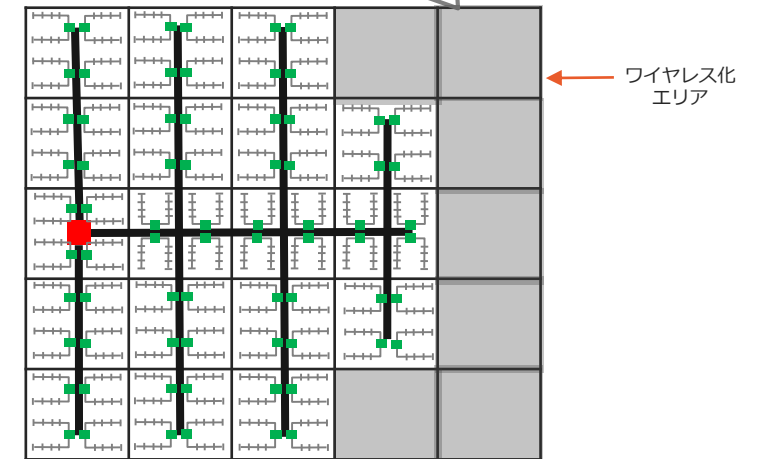
現行ロジックの場合、ワイヤレス化されたメッシュにも需要が配賦されて配線設備コストが計上される



適切な配線モデル

ワイヤレス化エリアの配線考慮

ワイヤレス化されたメッシュは配線を行わないことを考慮したロジックを導入すべき



※局内のすべてのエリアがワイヤレス化される場合は局およびその上位設備の考慮も必要

ワイヤレス固定電話の接続料の算定方法・設定方法

4

- ワイヤレス固定電話の制度整備が行われたことを踏まえ、他社携帯電話網を活用したLRICモデル検討の前提が整ったと認識しておりますが、前項の課題を含め、LRICモデルへ反映するために相当な期間が必要と考えます。
- LRIC方式は現実網をそのまま反映することを目的としていないこと、またワイヤレス固定電話への置き換えが2022年度第4四半期から徐々に始まり適用エリアも限定的であることを考慮すると、**IP網への移行期間中はワイヤレス固定電話を考慮しない形で第8次PSTN-LRICモデルおよび第9次IP-LRICモデルを適用することが現実的**と考えます。
- IP網への移行後の扱いに関しては、現状のメタルIP電話の整理も踏まえ、ワイヤレス固定電話の影響（注）を考慮した次々期LRICモデルを将来的に検討**することが適切と考えます。

（注）メタルIP電話の配線コスト減分の反映、ワイヤレス固定電話固有設備（SIPサーバ/FAXサーバ、接続用ルータ等）の扱いの整理

接続料	現在		移行過程 (2022年4月～2024年12月)		移行後 (2025年1月～)	
	加入電話	ひかり電話	加入電話／メタルIP電話 ／ワイヤレス固定電話	ひかり電話	メタルIP電話 ／ワイヤレス固定電話	ひかり電話
考え方	-	-	ワイヤレス固定電話は回線移行前のメタル電話（加入電話・メタルIP電話）需要とみなす	-	ワイヤレス固定電話の影響を考慮したLRICモデルを検討	-
原価算定	LRIC		LRIC（第8次PSTN-LRIC＋第9次IP-LRICモデル）	将来原価		将来原価
単価設定	IC	GC	ひかり電話	加入電話（IC/GC統合） ＋メタルIP電話 統合設定	ひかり電話	メタルIP電話/ワイヤレス固定電話 ＋ひかり電話 統合設定

au

UQ
mobile

povo